



# 上野商工会議所 ニュース

UENO CHAMBER OF  
COMMERCE AND INDUSTRY NEWS



2022  
健康経営優良法人  
Health and productivity

料金後納

ゆうメール



## 今月の表紙

### 上野ハウス株式会社

〒518-0835 三重県伊賀市緑ヶ丘南町2332  
TEL 0595-21-3612 FAX 0595-23-5840

当社は昭和45年の創立以来、地域に密着した総合建設業として、誠意ある仕事と高い技術力をもって、建築工事・土木工事・マンション事業・宅地開発事業・不動産事業等の様々な建設サービスを提供いたしております。また、良好な地域環境整備を目指し、太陽光発電事業・訪問看護事業・PFI事業等も展開しています。更に、未来世代を視野にSDGsに取り組み、今後も安全と安心を提供する総合建設業として、企業活動を通じて豊かな地域社会の実現に貢献いたします。



2020年4月号から役員・議員様の事業所を紹介させていただいています。

## 今月のTopics

会員ひろば掲載事業所募集中!!

令和5年 新年賀詞交歓会開催	2
令和5年度 予算要望及び政策提言	3
伊賀上野灯りと忍びの城下町フォトコンテスト	5
中小企業相談所だより(「小規模事業者持続化補助金」が拡充されます)	8
会員ひろば (ビストロ マルシェ)	10

# 2023.2

令和5年2月5日発行 第539号

発行所 上野商工会議所 〒518-0873 伊賀市上野丸之内500番地  
TEL 0595-21-0527 FAX 0595-24-3857  
発行人 専務理事 尾登 誠 URL <http://www.iga-ueno.or.jp/>  
E-mail: [info@iga-ueno.or.jp](mailto:info@iga-ueno.or.jp)

# 令和5年 新年賀詞交歓会開催

令和5年1月5日(木)

上野商工会議所賀詞交歓会をヒルホテルサンピア伊賀で開催し、地元の政財界関係者、当所役員・議員、会員事業所など150名の皆様とともに新年を祝いました。

本年は、コロナによる影響がまだまだ継続する状況でしたが、感染対策を行なった上で、式典並びに3年ぶりに祝宴を開催させていただきました。

田山会頭は冒頭の挨拶で、物価高騰等の影響について触れ、「賃上げできないと個人消費などを考えたときに経済の活性化は難しいと考える。厳しい状況下ではあるが、今年は挑戦の一年。賃上げ達成に向けては、我々中小零細企業も生産性向上への取り組みが不可欠となる」と新年の抱負を語りました。また伊賀市内の交通インフラ整備の必要性について訴え、「今、草津線（柘植―草津間）の複線化要望が地元から出ており、滋賀県の南部と連携し、柘植―伊賀上野間の電化延伸を視野に入れた活発な協議につなげていければ」と述べました。



田山会頭の挨拶



川崎衆議院議員



中川衆議院議員

引き続き、川崎秀人衆議院議員、中川正春衆議院議員からご祝辞をいただき、その後、岡本栄伊賀市長が挨拶され、「昨年は中心市街地活性化の忍者回廊事業が議会の賛同を得て本契約が成立した。新しい形の図書館、忍者体験施設は2025年開催の関西大阪万博に向け大きく動き出す象徴的な事業になる」と話されました。続いて、森野真治三重県議会議員からもご祝辞をいただきました。



岡本伊賀市長



森野三重県議会議員

式典終了後は、伊賀市の発展・会員企業の発展を祈念しての鏡開きと、近森正利伊賀市議会議員より伊賀酒で乾杯を行い、祝宴を開催しました。アトラクションとして、伊賀上野白鳳太鼓による伊賀の歴史と文化のイメージを織り込んだオリジナル

楽曲の演奏も行われ、宴席に花を添えました。ご出席された皆様各々の名刺交換で新年の挨拶が交わされ、和やかな雰囲気の中で賀詞交歓会が開催されました。



鏡開き



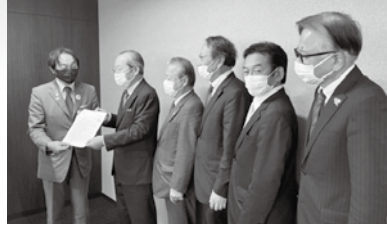
近森市議会議員長の発声で乾杯



アトラクション 伊賀上野白鳳太鼓による演奏

# 令和5年度予算要望及び政策提言

「令和5年度予算要望及び政策提言」を令和4年12月20日(火)に伊賀市へ、21日(水)に伊賀市議会へそれぞれ提出いたしました。地域経済の担い手である中小企業及び小規模事業者が、持続・発展することが可能となる様、産業振興施策の強化及び拡充を、下記の通り要望しました。



岡本市長への要望



近森市議会議長への要望

## 1 産業振興及び雇用促進等、地域創生のための施策の推進

- (1)中小企業及び地域産業の振興策の充実
  - ①雇用機会の拡大及び成長産業の立地の推進
    - ア 伊賀市の適正な土地利用に関する条例・土地利用基本計画の柔軟な運用
      - 小規模な工業用地隣接地への工場等の立地については、工場適地、工業系用途で許可された用地の内、5ha以上となる一団の工業用地の面積要件を、中小企業、小規模事業者が開発可能となるよう1ha以上に緩和（現状の工場敷地面積含む）
      - 幹線道路地区の内、名阪国道インターより1kmの範囲内を現実的に工場等の設置が可能となるように2kmの範囲内に拡大し、優遇税制を適用
      - 地域間競争を考慮した市外からの企業進出に有利となる土地利用計画の見直し促進
      - 保全区域であっても敷地内の増築及び新築、隣接地への幅幅について手続きの簡素化により事業者が断念することの無いよう、事務手続き簡素化の見直し促進
    - イ 上野南部開発など新たな工業団地の計画及び造成の推進
  - ②資源原材料価格高騰等による支援策の創設
    - ア 中小企業・小規模事業者を対象とした原油価格高騰による支援金の創設（電気、ガス（都市ガス・LPガス）、ガソリン、軽油、重油、灯油の費用を対象とする）
    - イ 価格高騰等の影響緩和のため、水道の基本料金減免制度の実施期間延長及び更なる水道料金の低減
  - ③産学官連携の更なる強化及び支援の拡充
- (2)雇用確保のための施策の強化及び支援策の拡充
  - ①地元企業への就労の向上施策の拡充
    - ア 地元企業への就労の発信施策の拡充のための高校生や大学生、U・J・Iターンへの推進に向けた発信力の強化
    - イ 小、中、高校において地元企業の魅力、就労環境の魅力等、産業教育の強化
    - ウ 学生向けに、市内に就職・居住することで返金免除となる特別奨学金制度の創設
  - ②多様な雇用の確保のための支援策の拡充
    - ア 少子化対策を踏まえ女性雇用、子育て世代雇用に取り組んでいる企業への支援及び助成制度の創設
    - イ 市外からの高度化人材確保のため、市内企業の就労者のための住宅支援制度の創設
    - ウ 地域で働く労働者や学生などを対象に、人材の育成確保・定着などを目的として、労働者や個人のキャリア形成、教育現場や企業でのキャリア形成のための支援を図るため、市における総合的なキャリアコンサルティング活用の実現
- (3)中心市街地活性化の促進
  - ①伊賀市にぎわい忍び回廊整備事業」を見据えた第二期中心市街地活性化基本計画の延長
  - ②中心市街地活性化協議会及び㈱まちづくり伊賀上野事業への人的支援
  - ③まちなか賑わいイベント等への支援拡充
    - 市民夏のにぎわいフェスタ、市民花火大会、灯りの城下町事業等
  - ④旧市庁舎等の総合的な多用途活用（にぎわい忍び回廊事業）の推進
    - ア 商工業発展のため観光及び物産機能など、まちの駅のような施設の設置
    - イ 新しい時代の図書館、市民の憩いの場、多機能トイレの設置
    - ウ にぎわい忍び回廊整備事業について、早期に会員向けの事業全体説明会の実施、進捗状況に合わせた部会等への説明会の実施
  - ⑤景観条例の高さ規制見直しによる民間資本の導入を促進
    - ア 本町通り、二之町通り、三之町通りについて、観光集客につながるホテル等、集客施設誘致のための規制緩和
    - イ ハイトピア伊賀より北の地域、特にNTT周辺の大幅な規制緩和による再開発の促進

## 2 観光立市に向けた観光振興の促進

- (1)ユネスコ無形文化遺産に登録された「上野天神祭のダンジリ行事」による更なる観光推進の強化
  - 市をあげての天神祭事業として運営体制の刷新及び支援の創設
    - ア 「上野天神祭のダンジリ行事」の人員や組織の弱体化が甚だしく、10年20年先を見据えた検討が必要。行政・地域住民・商工会議所の会員事業所等を含めた議論をする場の行政主導での設置
- (2)観光客受け入れ施設等の拡充
  - ①旧市庁舎跡及び成瀬平馬屋敷跡の施設と連携した、まちなかへの観光客誘導施策の実施（南北を結ぶ地下道などアクセス整備等）。利用者の利便性を考慮した駐車場の確保及び駐車共通券の発行
  - ②魅力的な新芭蕉翁記念館及び芭蕉ゾーンの実現
  - ③外国人を含む観光客向けマップの作成やスマートフォンを活用した案内プログラムの導入など受け入れ環境の整備
  - ④上野公園内のトイレ（2か所）の早期改修の実施
- (3)伊賀の物産を広く発信するため、新商品開発への補助金制度の創設
- (4)NTT西日本伊賀上野ビル壁面を活用した「忍び回廊」設置の早期実現
- (5)観光誘客に繋がる未利用施設の活用促進

- (6)観光地域づくり法人(DMO)による事業連携の推進、専任職員の確保
- (7)遠足・修学旅行等の教育旅行での昼食等、受け入れ場所の提供
- (8)名阪上野ドライブインに代わる新たな物販拠点の設置

## 3 社会基盤の整備及び維持管理

- (1)社会基盤の整備
  - ①渋滞緩和及び交通安全施設の整備
    - ア 国道368号線の全線早期4車線化及び名阪国道上野インターの改良による渋滞緩和及び安全確保
    - イ 名阪国道の補修整備及びサービスエリア機能の再整備について関係機関への早期実施要望
    - ウ 市内企業団地等における道路の安全対策及び老朽化した施設の修繕、維持管理
  - ②近鉄伊賀神戸駅前開発の促進
    - 就労者の確保や利便性の向上を図るため、ロータリーの設置、車両の待機場所の確保等、中長期的な視点での計画への位置付け。駅前もしくは駅ナカへのコンビニ及び飲食店の設置
  - ③将来への交通基盤の整備計画の策定
    - ①JR関西本線伊賀上野駅・栢植駅間の電化促進及び伊賀鉄道と連動した交通システムの整備
    - ②名神名阪連絡道路の早期実現のための調査費の重点配分及び継続的な予算の確保
    - ③リニア中央新幹線の建設を見据え、車両基地の誘致及び既存交通網の整備調査
- (2)公共交通ネットワークの充実
  - ①市街地へのアクセス、利便性を考慮した公共交通システムの構築
  - ②伊賀市の移動手段、特に夜間が無く、ウーバーの様な交通手段の導入
- (3)伊賀鉄道の利用促進
  - 今後のカーボンニュートラル社会を見据え、市職員や観光客など更なる伊賀鉄道の利用促進及び各駅周辺の駐車場の整備
- (4)県道市道の維持管理
  - ①年々、車道歩道沿いの路肩の除草作業が縮小している様に思われる。適時、定期的な維持管理の実施
  - ②道路の舗装補修についても、計画的な補修改良の実施

## 4 公共工事発注制度の改善及び防災対策の強化

- (1)地元企業存続のための公共工事発注制度の改善
  - ①コロナ禍や建設資材等の高騰による影響で民間工事が減少している中、更なる安定的かつ持続的な公共工事予算の確保並びに工事発注量の増加
  - ②建設資材等の高騰に対するスライド条項の適用は、入札時の金額から設計時の金額を基準にされたい。また、工期内の金額変動のスライド条項適用の追加
  - ③将来の担い手（若年者）確保に必要となる「土日完全週休二日制」の取り組みについて、適切な工事期間及び経費確保への対応
  - ④伊賀市公共施設等の利活用に関する民間提案制度は、募集テーマに即した提案をいただくものであり、市が公共工事の発注単位や発注方法などを決定するものではないとあるが、事業化が決定した際には、提案が採用された者との随意契約を前提としている。事業化が決定されるには、地元事業者の参加を必須条件とし、大手事業者の参入による費用対効果だけではなく、市が実施する事業として、地元事業者の育成や小規模事業者が今後も存続できるように最大限の配慮が必要であり、産業振興部・建設部など市役所内での考え方の統一が必要
- (2)全国各地で発生している水害や土砂崩れ等への対策強化
  - ①市の防災・減災対策として、河床掘削や堤防補強等の迅速な対応、特に新原部橋の河床掘削の早期実施
  - ②国、県管理の河川であっても、各々との連携強化による市民の安心・安全確保
  - ③木津川、服部川、栢植川及び名張川の関係河川事業の推進

## 5 中小企業・小規模企業振興事業費補助及び商店街活性化等の事業補助金等の拡充

- (1)中小企業相談業務負担金の拡充
- (2)商工会議所事業補助金の拡充
- (3)中心市街地等商店街活性化事業費補助金等の事業支援及び助成の拡充
- (4)IT(情報)関連補助金の推進

## 6 ポストコロナ、資源原材料価格の高騰、急激な円安の影響を見据えた中小企業・小規模事業者への継続支援及び状況に応じた消費喚起

- (1)金融支援制度の継続・拡充
  - 事業継続のため、国や県の支援策の動向を踏まえ、小規模事業資金の保証料の補助額及び、小規模事業者経営改善資金の利子補給の拡充
- (2)影響が長期化しているなか、事業継続・雇用維持・地域活性化・安心安全な市民生活の確保等を図るため、引き続き行政と市内金融機関との幅広い連携とさらなる協力関係の構築
- (3)金融リテラシーの向上に向けた行政、教育機関、各企業との連携促進
- (4)幅広い事業者を対象としたポストコロナ、資源原材料価格高騰への支援策の創設
- (5)幅広い事業者を対象とした、消費意欲を喚起する施策の実施

## 7 その他

- (1)市役所の証明窓口（戸籍住民課、課税課、取税課）業務時間延長日数の増加
- (2)マイナンバーカード時間外申請及び時間外受取の日数の増加

# 国土交通省中部地方整備局との意見交換会

三重県商工会議所連合会

令和4年12月21日(水)、三重県商工会議所連合会(会長:伊藤歳恭)は、国土交通省中部地方整備局との意見交換会を開催しました。

県内12商工会議所の会頭や副会頭、専務理事の25名が出席し、国土交通省からは中部地方整備局の稲田雅裕局長をはじめ担当部長等の10名が参加しました。



▲挨拶をする伊藤会長(左)と稲田局長(右)

伊藤会長は挨拶の中で「道路整備が進むことで、新規企業の立地や観光入込客数の増加など、多くの効果が期待されることから、早期の完成を待ち望んでいる。一方で、大規模な災害にも対応できる計画的な基盤整備に加え、建設後、長期間が経過し、老朽化が進む施設のメンテナンスや更新など、強靱な国土づくりについても、しっかり進めていただきたい。」と述べました。

稲田局長からは「中部地方整備局は、2つのミッションをもっており、1つ目は、地域に安全・安心を提供すること。2つ目は、経済発展基盤や豊かな生活空間を整えていくことであり、各地で進めている防災・減災対策やインフラ整備などに対し、ご理解、ご協力を賜り、お礼申し上げる。」と挨拶がありました。

その後、中部地方整備局から社会資本整備をめぐる最近の動きについて説明があり、各商工会議所からは、道路網整備の促進、港のインフラ整備、海岸整備、河川改修、規制緩和などについて地域の実情を踏まえた要望等を行い、意見交換を行いました。



意見交換会の様子

## 新春講演会

講師:蓬萊 大介 様 (気象予報士・防災士)

令和5年1月21日(土)



新春講演会を、21世紀のエネルギーを考える会・みえ、(公財)日本電信電話ユーザ協会との共催で上野フレックスホテルに於いて開催しました。今回は、読売テレビの情報番組等で活躍されている気象予報士の蓬萊大介様をお迎えし、「お天気キャスターが伝える地球温暖化について ~今、地域社会でできること~」と題してご講演をいただきました。約150名の会員企業・市民の皆様にご参加いただきました。

地球温暖化は単に平均気温が年々上昇しているというだけではなく、近年世界各地で発生している大雨や寒波などの異常気象の一因となっているといい、「地球温暖化は人間に例えれば、病気で熱を出したような状態。人間の排出した温室効果ガスの増加は気象とも深い関わりがあり、対策を講じなければ異常気象の頻度もますます増加するだろう」と説明されました。そのため、気候変動に備えるための適応策と、温室効果ガスを削減するための緩和策を同時に進めることが、私たちに求められていると述べられました。異常気象の被害に対する防災対策の具体例についても紹介いただき、「緊急時への備えは疎かになりがちだが、自分や周囲の大切な方の命を守るためにも、可能な範囲から準備を始めてほしい」と日常の備えの必要性を呼びかけられました。

テレビ出演の際にお馴染みのご自身作成のイラストも時折交えていただきながら、地球温暖化が私たちの暮らしにもたらす様々な影響について、子供からお年寄りまで幅広い年代の方にも分かりやすい目線で解説をいただきました。



中外医薬生産株式会社

URL: <http://www.chugai-iyaku.co.jp>

# 令和4年度 伊賀上野灯りと忍びの城下町フォトコンテスト

## グランプリ



「灯りの路を歩く」 鈴木 陵太 様

令和4年10月7日～9日に開催された「伊賀上野灯りと忍びの城下町」内で行われたフォトコンテストの結果が発表されました。

多数の力作の中から選ばれたグランプリには伊賀牛1万円分が贈られます。

今後も「伊賀上野灯りと忍びの城下町」をよろしくお願いたします。

## 準グランプリ



「雨上がりの参道」 宮田 彰士 様

## 2022年全国そろばんコンクールを実施〈令和4年12月18日(日)〉 ～全国の頂点を目指して～

2022年全国そろばんコンクール（主催（一社）日本珠算連盟、後援日本商工会議所・上野商工会議所）を開催しました。過去2年は新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、日本珠算連盟上野支部会員の各塾・教室にて開催していましたが、令和4年度は3年ぶりに上野商工会議所で開催し、小学1年生の部から一般の部までの96名が、全国一を目指して大いに健闘しました。

今回の上野地区最高得点者は、緑ヶ丘中学校2年生西村聡旭さんでした。おめでとうございます。

～各部門金賞1位のみなさん～

- ☆小学校1年生以下の部 猪田曜平さん
- ☆小学校2年生の部 市来逢奏さん
- ☆小学校3年生の部 猪田彩月さん
- ☆小学校4年生の部 中川麗愛さん
- ☆小学校5年生の部 西山誠剛さん
- ☆小学校6年生の部 藤本桃百さん
- ☆中学1年生の部 西山紗菜さん
- ☆中学2年生の部 西村聡旭さん
- ☆中学3年生の部 田尾泉澄さん

- ☆高校生の部
- ☆一般Ⅰの部
- ☆一般Ⅱの部

- 福永有彩さん
- 福永沙梨菜さん
- 田中由紀江さん



最高得点者 西村聡旭さん



各部門金賞1位のみなさん

## 建設業部会 「豊洲市場」「迎賓館赤坂離宮」「国立競技場スタジアム」を視察見学 2022年11月25日(金)~26日(土)

建設業部会は、一泊二日、17名の参加で東京を訪れました。

一日目は、今まで築地市場が担ってきた生鮮食料品流通機能を引き受ける施設として2018年に開場した「豊洲市場」を見学しました。50年先までを見据えた首都圏の基幹市場として、適切な温度管理、風雨や高温の影響から商品を守ることができる閉鎖型施設であり、さらに売り場側に荷物の整理スペースや駐車場を設け、物流の観点から見ても利便性が高くなっているのが特徴の施設です。

その後の懇親会では、屋形船にて料理と東京の夜景を心ゆくまで堪能し、それぞれの事業の情報交換の場として親睦を深めていただきました。

二日目は、日本唯一のネオ・バロック様式の西洋風宮殿で、国宝として指定され重要な国際会議の会場としても使用されている「迎賓館赤坂離宮」を見学しました。本館内部は、とても華やかで美しく、壁面の楕円形の七宝額に納められた花鳥画、天井に描かれた油絵など煌びやかな装飾が施され圧巻でした。

つづいて、国立競技場スタジアムを見学しました。

この競技場は、2021年に開催された東京オリンピックのメインスタジアムとして、隈研吾氏によって建てられた建造物で、これまでのコンクリートと鉄によるスポーツ施設ではなく、積み重なる4層の軒庇×軒下の木ルーバーによって温かく優しい空間がつけられ、伝統的な日本建築のように木のぬくもりが伝わる温かい空間が特徴となっています。美術的要素も併せ持つ非常に価値ある建築物の魅力を体験することができました。

参加者一同は、魅力の尽きない東京を視察させていただき、大変有意義な視察研修となりました。



豊洲市場にて

## 商業部会 視察研修 2022年11月28日(月)

商業部会の視察研修を11月28日に、神戸ポートミュージアム「アトア」に総勢15名で訪問させていただきました。

2021年10月29日にオープンされ、すでに100万人の来場者がお見えになっている、アートとアクアリウムが融合する新しい世界を体験する劇場型アクアリウムということで、国内最大を誇る球体水槽や光の切り絵



神戸ハーバーランドにて

作家さんによるオリジナルプログラムによる圧巻の切り絵作品に飲み込まれ、感銘を受けました。

また、約100種類3000点ものいきものたちとも出会うことができたり、最新技術を駆使したエンタメ要素満載のデジタルコミュニケーションや館内随所に散りばめられた隠れたアート作品やインスタ映えするアトアオリジナルのFOODやDRINKなど、商品の魅せ方一つで印象が変わることを改めて感じさせていただきました。

伊賀市においても「にぎわい忍者回廊整備（忍者体験施設等整備）」事業が今後進められるということで、商業部会としてもお店に来ていただける絶好の機会と捉え、まずは情報を取り入れながら、商業部会としてできることを取り組んでいきたいと思いました。3年振りの開催となりましたが、天候にも恵まれ、参加者一同親睦も深めることができ、有意義に視察研修を終えることが出来ました。

## 交通運輸部会 視察研修 2022年12月8日(木)

交通運輸部会の視察研修を開催し、12事業所13名の方にご参加いただきました。今回は、京都府舞鶴市の舞鶴赤レンガパーク内の倉庫見学、海上保安庁海軍ゆかりの港の視察等を実施しました。みどころいっぱいの舞鶴港を体感することができ、参加者の皆様には、今後の事業にとって大変有意義な視察研修となりました。



舞鶴赤レンガパークにて

## 金融理財部会 視察研修会を開催 2022年12月7日(水)

金融理財部会は、視察研修会を3年ぶりに開催し、参加者12名にて大阪方面へ出向きました。

視察研修では、大阪商工会議所創立120周年記念事業として2001年に開設された『大阪企業家ミュージアム』を訪れました。この施設は、わが国唯一の企業家に関するミュージアムとして、企業家が集い企業家を



大阪企業家ミュージアム(左) 大阪城(右)にて

生み出す活力あるまち大阪の実現に向け、「企業家精神」にあふれた次世代の人材の発掘・育成を目的に開設されました。五代友厚、松下幸

之助、小林一三など、明治以降に大阪を舞台に活躍した企業家105人のチャレンジや創意工夫がパネルやゆかりの品で一堂に紹介されています。当日は、「大阪発のヒット商品から大阪を知る」をテーマに見学会も開催されており、企業家たちが生み出した様々なヒット商品開発に込められた思い・挑戦・創意工夫を中心に、ガイドスタッフさんにクイズを交えながら詳しく案内と説明をいただき、大阪を楽しく学び、大阪の魅力を感じました。

また午後には、大阪城天守閣横に開業した商業施設「ミライザ大阪城」を訪れました。レトロな雰囲気を楽しめる建物が大阪城とも調和していました。

参加者一同、一日を通して大いに見聞を深めると共に、和やかに交流と懇親を深め、有意義のうちに視察研修会を終えることができました。

## 異業種交流懇談会 『忘年会』開催 2022年12月22日(木)

異業種交流懇談会(岡田直也座長)の12月例会として忘年会を「金谷」にて開催致しました。来賓としてご臨席いただきました田山雅敏会頭をはじめ22名の方にご参加いただき、会員間の親睦を深めることができました。また、本会では恒例となっております「来年の抱負を漢字一文字」を参加者の皆様に発表いただきながら、各々新年への抱負を述べていただきました。

本会は企業の中心を担う若い会員が集い、毎月の例会を通して経営感覚を高め合うことで、「相互の連携を強化することにより、企業経営の円滑化及び活性化

に寄与し、もって地域経済の振興に資する。」という目的のもと活動しております。現在24名の会員が参加しており、新規の入会も随時募集しております。入会ご希望の方は、上野商工会議所事務局(TEL0595-21-0527)までお問い合わせ下さい。



来年の抱負の漢字一文字を掲げる会員の皆さん

## 青年部だより

### 12月例会「FRIENDSHIP&INCLUSION」開催 2022年12月14日(水)

毎年12月例会は親睦例会ということもあり、コロナ禍が続いている中ではありますが感染対策を万全にして、



ボードゲーム「IROIRO」を体験

ハイトピア伊賀3階にて開催しました。

感染が急増している中であつたため忘年会という形は避け、代わりに立命館宇治高校2年生でありながら、サ

ステナLabo IROIROの代表でもある中野実桜さんが開発された、多様性を体感できる協力型ボードゲーム「IROIRO」を使用しての親睦交流会としました。例会当日は、開発者の中野実桜さん本人にZoomでファシリテーターとして参加していただき盛り上がることができました。

コロナ禍の影響でオンライン上での活動が増えていますが、やはり対面での交流が親睦を深めていく上では大事だと感じた例会となりました。

## 青年部だより

### 1月例会「令和5年上野商工会議所青年部新年式典・新年懇親会」開催 2023年1月11日(水)

ヒルホテルサンピア伊賀にて新年式典・新年懇親会を開催しました。来賓・親会役員・青年部OB会員の皆様に新年式典にご臨席いただきました。新年式典後には新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで3年ぶりに新年懇親会も開催をさせていただきました。式典・懇親会を通じて皆様と意見交換させていただき、「地元の青年経済人として期待している」との

お声をいただきました。本年も青年部一同全力で果敢に何事にも挑戦し活動してまいりますので、青年部活動へのご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



挨拶をする西尾会長

持続化補助金で販路開拓！

令和4年12月時点

「小規模事業者持続化補助金」が拡充されます

【事業目的】 小規模事業者\*等が経営計画を自ら策定し、商工会・商工会議所の支援を受けながら取り組む販路開拓を支援

※常時使用する従業員数が「商業・サービス業（宿泊業、娯楽業を除く）」の場合5人以下、それ以外の業種の場合20人以下である事業者

【補助上額】 50～200万円 ⇨令和4年度第2次補正予算より、免税事業者からインボイス発行事業者に転換する場合、一律に50万円の補助上限上乗せを行います。（最大250万円）

【補助率】 2/3（賃金引上げに取り組む事業者のうち、赤字事業者は3/4）

【補助対象】 店舗改装、広告掲載、展示会出展費用など

令和4年度第2次補正予算で中小機構に措置

措置内容

令和4年度第2次補正予算において、「一律に50万円の補助上限上乗せ」をします（最大250万円）。

※2023年2月までは、現行のインボイス枠を継続します。

免税事業者からインボイス発行事業に転換する事業者（インボイス転換事業者）を対象に、全ての枠で一律に50万円の補助上限を上乗せし、販路開拓を支援します。

	通常枠	特別枠				インボイス枠
		賃金引上げ枠	卒業枠	後継者支援枠	創業枠	
インボイス転換事業者	100万円	250万円				100万円
上記以外の事業者	50万円	200万円				-
補助率	2/3	2/3 (賃金引上げ枠のうち赤字事業者の場合3/4)				

【現在（第11回）の申請要件】

- 賃金引上げ枠 ⇒ 事業場内最低賃金を地域別最低賃金より+30円以上とした事業者
- 卒業枠 ⇒ 小規模事業者として定義する従業員数を超えて規模を拡大する事業者
- 後継者支援枠 ⇒ アトツギ甲子園のファイナリスト等となった事業者
- 創業枠 ⇒ 過去3年以内に「特定創業支援事業」による支援を受け創業した事業者
- インボイス枠 ⇒ 免税事業者のうちインボイス発行登録をした事業者

（令和4年度第2次補正よりインボイス特例を導入。その際にインボイス枠は終了）

※令和元年度・3年度補正予算事業において、「インボイス枠」で採択された事業者は、令和4年度第2次補正予算における補助上限上乗せ（インボイス特例）の対象外です。

活用例 ※下線が本補助金の対象経費

事例① 古民家をカフェとして営業するため、厨房を増設。加えて、地元飲食店とのコラボメニュー開発や、地域住民の協力を得て様々なイベントをカフェで開催。

事例② 蕎麦屋が地元特産のかき揚げをセットメニューに追加するため、高性能フライヤーを導入。新規顧客の増加、顧客単価アップを目的として地元メディアに広告を出稿。

<今後のスケジュール>

○令和元年度・令和3年度補正予算 2023年2月20日(月) 第11回公募締切

○令和4年度第2次補正予算 準備が整い次第、公募を開始。

（詳細は、順次公表いたしますので、下記HPにてご確認ください）

事務局HP：



商工会地区HP  
お問い合わせ先は所在地によって異なるため、上記の商工会地区HPをご参照ください。



商工会議所地区HP  
03-6632-1502



jGrants  
(ID取得)

地元の事業者の強い味方！「商工会議所・商工会」連携ローン

地域活性化ローン「**糸半**」

Face to Face

最高  
500万円

担保不要

第三者  
保証人不要

詳しくは、お近くの窓口までお問い合わせ下さい。



北伊勢上野信用金庫

<http://www.kitaiseueno-shinkin.jp/>



# 伊賀再発見

三重大学  
伊賀連携フィールド2022年度

ハイトピア伊賀で毎月開催している、「忍者・忍術学講座」の講師陣による一冊

## 「忍者学大全」

山田 雄司 編 / 三重大学国際忍者研究センター 監修  
2023年02月27日 A5 544頁 (税込 8,250円)  
東京大学出版会

総説「忍者学とは何か」(山田雄司)

### 第1部 忍者の虚実

#### 第1章 忍術書を読み解く

- ・忍術書成立に対する兵法書の影響
- 『万川集海』と『軍法待用集』を比較して(福島篤仁)
- ・忍術伝書解説 紀州徳川藩『合武伝法急勅喚物見の巻』(中島篤日)
- ・兵法書と忍術書における座標型の換字式暗号(吉丸雄哉)
- ・伝承された忍術の修行法について(川上仁一)

#### 第2章 忍者文学から忍者映画まで

- ・忍術雑記集 現代日本で忍術を評した人々(酒井裕太)
- ・近世実録と忍者 孫子・軍学者・講釈師(高橋圭一)
- ・忍者マンガの系譜 忍術マンガからNINJAマンガまで(橋本博)
- ・東映忍者史(山口記弘)
- ・芭蕉忍者説の周辺(岡本聡)
- ・秘術の叙法と視覚情報 昭和30年代忍法小説の表現と挿絵(牧野悠)
- ・忍者と暗殺 杉谷善住坊と音羽の城戸(クバーソフ・フョードル)

#### 第3章 現代忍者

- ・近代日本の霊術運動と藤田西湖(一柳廣孝)
- ・陸軍中野学校と藤田西湖(山本武利)
- ・奇術と法術(河合勝)
- ・「忍術」への想像力 伊藤銀月と藤田西湖(森正人)
- ・「我ならざる我」を働かせる 伊賀忍者は石になる(甲野善紀)
- ・実学としての忍者学 防災教育への忍術の活用とその検証(三橋源一)

#### 第11部 忍者の科学と技術

- 第4章 医学・薬学・食
- ・忍者の印と息長の効果の医学的検討(小森照久)
- ・忍者良の設計デザイン(久松眞)

#### 第5章 火術

- ・忍者の火器・火術(荒木利芳)
- ・忍者の情報伝達方法(加藤進)

#### 第6章 武具

- ・隠し武具の世界(近藤好和)
- ・弓の種類と目的に応じた射法(松尾牧則)

#### 第7章 築城と忍

- ・伊賀・靈山山頂遺跡と歴史的層重性(伊藤裕偉)
- ・伊賀国における中世末・近世初頭の石塔・石仏(竹田憲治)
- ・小天狗清蔵についてその活動と天正伊賀の乱後の復興(瀧川和也)

#### 第11部 忍者の実像を探る

#### 第8章 合戦戦略と忍者

- ・戦国島津氏の忍びについて「いくさ忍び」の事例と特質(桐野作人)
- ・戦国期関東の忍びと特殊武装集団(岩田明広)
- ・島原・天草一揆と忍び(山田雄司)

#### 第9章 伊賀者の成立と各地の忍び

- ・天下泰平の構造(藤田達生)
- ・徳川幕府伊賀者の成立と展開(高尾善希)
- ・弘前藩の忍者が担った北日本の治安維持(清川賢人)
- ・福井藩の忍び者を創設した軍学者并原番右衛門頼文という個性(長野栄俊)

#### 第10章 公儀隠密・御庭番と江戸期の忍び

- ・將軍直属の隠密、御庭番の実像(深井雅海)
- ・伊賀者の町鮫河橋谷町(福重旨乃)
- ・江戸時代の伊賀者一揆探索の隠密御用(深谷克己)
- ・伊賀の山伏と業、そして忍術を考える(長峰透)
- ・彦根藩伊賀歩行の職務とその供給源をめぐって(東谷智)

#### 第11章 幕末維新期の忍び

- ・忍びたちの明治維新(井上直哉)
- ・幕末維新期の無足人の軍役と生活 伊勢国無足人を事例に(藤谷彰)

付録 忍術書『軍法閑林清陽巻中』と『万川集海』

全国各書店で予約受付中

## 三重大学国際忍者研究センターだより 52の巻

国際忍者研究センターの酒井です。何度も書いてはありますが、私は絵に書いたような「田舎の子」でありました。行動パターンを挙げるならば、「大きめの虫を見つけたら喜ぶ」、「長めの棒が落ちていたら剣にする」、「田んぼにはまる」、「『ウルトラスーパーファイヤー』といった言葉を多用する」などでしょうか。あと、0点を取ったことがあります。0点なんて、のび太やカツオだけの世界と思っていましたが、高校で0点を取ったことがあります。玄関開けたら2分でごはん、なんてCMがありました。テスト用紙を見たら2秒で就寝でした。社会人になってもぼっとしません。「笑ッせえるすまん」のカモにされそうな人物です。なんだ、同情を買いたいのかとお思いかもしれませんが、そうではありません

ん、またしても、このページの上部を見てください。はい、東大から『忍者学大全』が出版されます。伊賀市、上野商工会議所様と共に毎月開催している「忍者・忍術学講座」の講師陣による論集です。スーパーうだつが上がらなかったこの私も、ウルトラ本気で原稿を書き、なんとか豪華執筆陣に並ばせていただくことができました。なんだ、自慢かよ…それも違います。私がかここで忍者や忍術について一生懸命書き物をして、発表をして、東大の出版物なんてのに寄稿できたのは、やはり伊賀という地域の皆様に育てていただき、上野商工会議所様に多大なる協力をしていただいた賜物なのです。たとえ0点を取るような少年でも、地域の支えでここまで成長させていただけるといふこともあるのです。

新車・車検・タイヤ・保険・钣金

車に優しい思いやり 愛と誠実

〒518-0825  
三重県伊賀市小田町743-2  
TEL.0595-23-1531  
FAX.0595-23-1772

販売  
よろこび

整備  
あんぜん

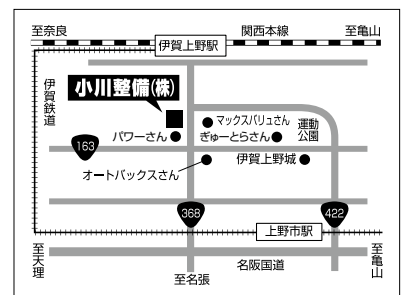
保険  
あんしん

リース  
しんらい



小川整備(株)

0120-48-1532



# 会員ひろば

**掲載事業所募集中!!**  
あなたの会社やお店をPR致します!!

## ビストロ マルシェ

伊賀市四十九町2905-1 丸金ビル1F  
TEL 050-8884-8386

営業時間 11:00 ~ 14:30 (L.O14:00) 17:30 ~ 22:00 (L.O21:00)  
定休日 月曜日 (他不定休あり)

2022年9月15日に四十九町でオープンした『ビストロ マルシェ』です。パリの街角をイメージした、オレンジ色の外観が目印。  
京都・神戸のホテルやレストランなどで経験を積んだシェフと栄養士の経験と野菜ソムリエの資格を持つ夫婦が営む小さなビストロです。  
ランチタイムは、月替わりのセットメニューで旬の食材、地元野菜を取り入れたパスタ・リゾット・ピザがあり、お魚やお肉料理を楽しめる週替わりランチもおすすです。  
ディナータイムは、気軽に楽しめるフレンチなどをご用意しております。また、要予約のコース料理もございます。  
普段使いはもちもん、おひとりさま、お子様連れ、デートや女子会などさまざまなシーンに合わせてご利用ください。  
その他、お家でもお店の味を楽しんでもらえるようにオードヴルやピザ、マルシェ BOX、お弁当(ハンバーグ・牛カツ)のテイクアウトも始めました。  
詳しくは、InstagramやHPで日々更新しておりますので、是非ご覧ください。



メインが選べるランチセット ¥1,650(税込)



テイクアウト オードヴル・ピザ・マルシェ BOX

Instagram @bistro\_marche  
HP bistro-marche.com



## 上野商工会議所 会員の動き

商工業者数	令和4年12月末会員数	組織率
2,618件	1,565件 (内特別会員121件)	55.15%

### 上野商工会議所会員募集中

#### 新規会員をご紹介ください

上野商工会議所では、新規会員の加入促進に努めております。お知り合いの未加入事業所を是非ご紹介ください。

新規入会に関するお問い合わせ

総務課 ☎0595-21-0527

#### 会議所に入会するとこんなにオトク!!

- 交流会で人脈が広がる
- 各種セミナーや視察に参加できる
- 融資や資金調達(コロナ支援金など)の相談が受けられる
- 販路拡大のサポートが受けられる
- 低コストで会報にチラシを折込できる
- 上野商工会議所会議室・ホールを割安で借りられる

がんばる企業を応援します。



### 三重県信用保証協会

三重県信用保証協会は、中小企業の皆さまが事業資金借入をされる際の「公的な保証人」となってサポートします。お気軽にご相談ください。



みえ みらいちゃん みえ しんぼくん

<p>本店</p> <p>津市桜橋3丁目399番地</p> <p>TEL 059-229-6021(代表) FAX 059-229-6344</p>	<p>四日市支店</p> <p>四日市市諏訪町4番5号(四日市諏訪町ビル5階)</p> <p>TEL 059-353-9161(代表) FAX 059-354-2046</p>
--	--

<https://www.cgc-mie.or.jp/>



## Web Design

ホームページ企画・制作・運営サポート 動画も

伊賀市比土 516

デジタル工房 株式会社 ☎0595-51-0349

## 創業セミナー参加者募集

自分のお店を始めたいと思っている人、同じ気持ちを持つ仲間と一緒に創業者の話聞いて、いろいろな疑問や悩みを解決してみませんか。

日時 3月4日(土) 13時～17時(受付開始12時45分～)

会場 ハイトピア伊賀3階コミュニティ情報プラザ

内容

### ■講演等

○「創業するまでに知っておくこと」

講師：中小企業診断士 横山 博昭氏

○創業者の特別講演

講師：北川 佳幸氏

伊賀市上野東町にて洋菓子店 Pâtisserie Rêve を経営

### ■車座ディスカッション

開業資金を借りるまでの流れや税務等について、金融機関、商工会議所、税理士、三重県信用保証協会が質問などにお答えします。

### ■交流会

対象者 三重県内で創業に興味のある方

定員 15人(先着順)

参加費 無料

申込方法 住所・氏名・生年月日・電話番号・メールアドレスを、三重県信用保証協会まで電話、FAX、ホームページ、メールのいずれかでご連絡ください。

お申込み締切 2月24日(金)

申込・お問い合わせ先

三重県信用保証協会 企業支援部 創業支援課  
担当者：大河、西岡、奥山

☎059-229-6060 FAX059-229-6344

HP : <https://www.cgc-mie.or.jp/> E-mail : [so-gyo@cgc-mie.or.jp](mailto:so-gyo@cgc-mie.or.jp)

## 決算・申告実務研修会の日程について

法人企業経営者・経理担当者の方を対象に、法人税、消費税等の誤りやすい事例をはじめ実務に役立つ情報を分かりやすく説明します。

今回も、「自主点検チェックシート」「インボイス制度」の説明も行い、特別に質疑応答の時間を1時間もうけさせていただきますので、この機会に是非ご利用ください。

日時 3月8日(水) 14:00～16:00(予定)

会場 ゆめテクノ伊賀

〒518-0131 伊賀市ゆめが丘1丁目3番地の3

内容 「わかりやすい会社の決算・申告の実務」について

講師 上野税務署 法人課税部門 担当官

受講料 法人会、上野商工会議所、名張商工会議所、

伊賀市商工会の会員の方は無料

その他の方は、2,000円

事前に申し込みが必要です。

申込先 (一社)伊賀法人会

☎24-5774 FAX24-5796



### 「平等性」を念頭に置いた言葉遣い

役職定年や定年後再雇用により、上司・部下の関係が逆転することに戸惑う職場は少なくないようです。また、一度定年になってからの転職などで新しい仕事に就く場合も昨今は珍しくありません。職場内における人間関係がさまざま変化する中で、良好な人間関係を構築するポイントはどこにあるのでしょうか。

その重要なポイントは「平等性」です。平等性といっても組織の中での役割の上下関係を否定することではありません。関わり方の問題です。

平等性を考える際に分かりやすいのは、相手に対する言葉遣いです。例えば、同じことを依頼する際に、年下の部下には「これやっというて」と言い、年上の部下に対しては「これお願いします」では、よい環境をつくるのが難しくなります。無自覚かもしれませんが、明らかに上司が部下を区別しており、それが部下に伝わるからです。年下の部下は、年上の部下にだけ丁寧に関わっている上司を見て面白くない感情を抱くかもしれませんし、ため口を聞いてもらえないよそ者と心理的に排除するかもしれません。

もう一つ例を挙げるなら呼称です。親しみを持って「○○ちゃん」と呼ぶことはNGかという、私はそうは思いません。職場内の全員がお互いを「ちゃん付け」で呼び合う職場であれば、平等性が保たれており問題

がないからです。しかし、一部の人を年齢や性別、そして役割を意識するような「ちゃん付け」をするようなら、その対象者を軽んじていると思われるも仕方ありません。反対に、「ちゃん付け」されていない他人に疎外感を与えてしまうこともあります。このように呼び掛け方一つをとっても平等性を欠くシーンがあり、人間関係を少しずつ狂わせます。大げさなことではなく、日々の関わり方を「平等にする」ことで職場の雰囲気は穏やかに安定し、それぞれの能力を発揮しやすくなります。ぜひ意識してお互いが尊重できる関係性づくりに役立ててください。

日本メンタルアップ支援機構 代表理事  
大野 萌子

◇大野 萌子／おおの・もえこ

法政大学卒。一般社団法人日本メンタルアップ支援機構(メンタルアップマネージャ資格認定機関)代表理事、公認心理士、産業カウンセラー、2級キャリアコンサルティング技能士。企業内健康管理室カウンセラーとしての長年の現場経験を生かした、人間関係改善に必須のコミュニケーション、ストレスマネジメントなどの分野を得意とする。防衛省、文部科学省などの官公庁をはじめ、大手企業、大学、医療機関などで5万人以上を対象に講演・研修を行い、机上の空論ではない「生きたメンタルヘルス対策」を提供している。著書に『よけいなひとを好まれるセリフに変える言いかえ図鑑』(サンマーク出版)ほか多数。



